

目次

- ア 学則変更（収容定員変更）の内容 . . . p. 1
- イ 学則変更（収容定員変更）の必要性 . . . p. 1
- ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容 . . . p. 2

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

令和3年4月より神戸女子短期大学の各学科の入学定員を総合生活学科は120人から100人、食物栄養学科は120人から60人、幼児教育学科は100人から80人に変更し、完成年度の収容定員を全体で680人から480人に変更する。

神戸女子短期大学の各学科の詳細が下表のとおりとなる。

入学定員及び収容定員

学科名	現 行		変 更 後		備 考
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	
総合生活学科	120人	240人	100人	200人	
食物栄養学科	120人	240人	60人	120人	
幼児教育学科	100人	200人	80人	160人	
合 計	340人	680人	240人	480人	入学定員100人減 収容定員200人減

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

神戸女子短期大学の各学科は、直近5年間継続して入学定員を下回り、未充足の状況となっている。その要因としては18歳人口の減少、全国的に短期大学の入学志願者動向が減少傾向で、志願者数の減少がある（表1）。これらの状況を踏まえ安定的に定員を充足できるよう、令和3年度より神戸女子短期大学の各学科の入学定員及び収容定員を減じて適正規模に変更する。

■表1 短期大学全体の入学定員・入学志願者数・入学定員充足率推移

年度（西暦）	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)	平均	5年間の 減少人数
入学定員（人）	62,464	61,251	59,116	58,161	55,885	59,375	6,579
志願者数（人）	89,349	83,116	78,338	75,631	72,587	79,804	16,762
定員充足率（%）	92.78	90.07	90.31	88.06	87.15	89.67	—

日本私立学校振興・共済事業団「平成31（2019）年度私立大学・短期大学入学志願動向」より抜粋し、本学で作成

各学科の直近5年間の平均入学者数と平均入学定員充足率は総合生活学科が97.0人で80.8%、食物栄養学科が88.4人で71.3%、幼児教育学科が83.6人で83.6%となり、全ての学科が入学定員未充足の状況である(表2)。食物栄養学科においては、令和2年度の入学者数が急激に減少している。これは「リクルート入試実態調査」の集計データによると栄養・食物学は衰退期となっており、本学においても志願者数減少傾向の影響を大きく受けていると思われる。この傾向は、今後も継続すると考えられることから食物栄養学科の入学定員を直近5年間の平均入学者数では88.4人となっているが、本年度の入学者数65人を基本に120人から60人とし、収容定員を240人から120人とする。その他の学科については、直近5年間の平均入学者数を基本とし、総合生活学科は入学定員を120人から100人、収容定員を240人から200人とし、幼児教育学科の入学定員を100人から80人、収容定員を200人から160人とする。

■表2 神戸女子短期大学各学科の入学者数等推移

学科名 (定員)	年度 (西暦)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)	2年度 (2020)	平均
総合生活学科 (120)	入学者数(人)	96	87	96	98	108	97.0
	定員充足率(%)	80.0	72.5	80.0	81.6	90.0	80.8
食物栄養学科 (120)	入学者数(人)	97	93	98	89	65	88.4
	定員充足率(%)	※69.2	77.5	81.6	74.1	54.1	71.3
幼児教育学科 (100)	入学者数(人)	95	94	81	80	68	83.6
	定員充足率(%)	95.0	94.0	81.0	80.0	68.0	83.6

※平成28(2016)年度食物栄養学科の入学定員は140名

ウ 学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容

(ア) 教育課程の変更内容について

総合生活学科

本学科は、生活の基本である衣・食・住から情報・ビジネス・CGデザイン、語学、心理まで人生を豊かにするさまざまな要素を一步深めて学べる学科として選択科目を10科目群とし、自らのキャリアプランに応じて科目を選択して総合的に学べるよう体系的な教育課程を編成している。今回の学則変更(収容定員変更)に伴う卒業要件に係る教育課程の変更はなく、定員減によりよりきめ細かい教育を提供することで、変更前と同等以上の内容が担保でき、教養科目等他学科への影響を与える授業科目等はない。

食物栄養学科

本学科は、栄養と食のスペシャリストをコンセプトに人びとの健康を「食」

の面からサポートする人材の育成を目的とし、設定している栄養士資格に関する科目、栄養士以外の資格に関する科目、選択科目とする教育課程においては、定員減によりクラス数を3クラスから2クラスに変更するとともに連携をより強化し教育効果をあげることができる。また、充実した設備や外部との連携を活かした実験・実習を数多くこなし、社会で即戦力となる技術を磨け、栄養士業務への理解を深め、将来の進路選択につながるよう教育の充実を図るなど、栄養士免許を取得するために法的に定められている教育課程となっており、今回の学則変更（収容定員変更）に伴う卒業要件に係る教育課程の変更はなく、変更前と同等以上の内容を担保し、教養科目等他学科への影響を与える授業科目等はない。

幼児教育学科

本学科は、子どもたちを笑顔にできるそして子どもたちの未来を育むことのできる「保育者」を養成するために地域に数多くある幼稚園や保育園と交流し、子どもと触れ合いながら、学びを実践する経験を増やし、2年次では、専門性を高めるためのゼミ形式の演習があり、造形表現、ピアノなど興味ある専門分野の学びを深める教育課程を編成している。幼稚園教諭二種免許や保育士資格を取得するために法的に定められている教育課程となっており、今回の学則変更（収容定員変更）に伴う変更はない。定員減によりよりきめ細かい教育を提供することで、今回の学則変更（収容定員変更）に伴う卒業要件に係る教育課程の変更はなく、変更前と同等以上の内容が担保でき、教養科目等他学科への影響を与える授業科目等はない。

(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容について

総合生活学科

今回の学則変更（収容定員変更）に伴う変更はない。従来の教員組織は入学定員120人の規模で編成しているが、卒業要件に係る教員組織の変更は行わず、基礎教育科目群で講義形式の授業、ならびに演習・実習を通して生活全般にわたる基礎的知識や技術を広く教授し、専門科目群では、社会や生活にかかわる専門的な分野を学生が自己の目的に応じた一貫性のある学習プランを計画し、講義・演習・実技など科目の特性に応じた充実した教育や、個々の学生に対応した丁寧な履修指導を行う。また、各クラスに担任及び副担任を配置し、よりきめ細やかな学修支援にあたることが可能となり、この体制を維持することにより変更前と同等以上の内容を担保する。

なお、学則変更（収容定員変更）による他学科への影響はない。

食物栄養学科

今回の学則変更（収容定員変更）に伴う変更はない。従来の教員組織は入学

定員 120 人の規模で編成しているが、卒業要件に係る教員組織の変更は行わず、講義・演習・実験・実習・実技など科目の特性に応じた更に充実した教育や、個々の学生に対応した丁寧な履修指導を行う。本学科はクラス担任制を設けており、各クラスに担任及び副担任を配置し、3 クラスから 2 クラスになり、1 クラスの人数も 40 人から 30 人になることから、よりきめ細やかな学修支援にあたることが可能となる。この体制を維持することにより、変更前と同等以上の内容を担保する。

なお、学則変更（収容定員変更）による他学科への影響はない。

幼児教育学科

今回の学則変更（収容定員変更）に伴う変更はない。従来の教員組織は入学定員 100 人の規模で編成しているが、卒業要件に係る教員組織の変更は行わず、自立心に富み、対話力と創造性にすぐれた女性の育成を目指し、表現科目（音楽・美術・身体）では、教育・保育現場の多様な場面を見据えた実技を行うことにより、創造性を形成する。また、アクティブラーニングの視点に立った授業では、知識の修得だけでなく主体的な学びを促し、他者との協調・協働を取り入れながら独創的な発想を生み出す資質・能力を身につける教育方法としている。さらに、少人数制で取り組み、個々の学生に対応した丁寧な履修指導を行い、クラス担任制を設けており、各クラスに担任及び副担任を配置し、よりきめ細やかな学修支援にあたることが可能となる。この体制を維持することにより、変更前と同等以上の内容を担保する。

なお、学則変更（収容定員変更）による他学科への影響はない。

(ウ) 教員組織の変更内容について

総合生活学科

今回の学則変更（収容定員変更）に伴う変更はない。従来の教員組織は入学定員 120 人の規模で編成しているが、入学定員変更後も、卒業要件に係る科目を担当する専任教員数の変更はなく教員組織を入学定員 120 人の規模を維持するため、変更前より同等以上の内容を担保する。

なお、学則変更（収容定員変更）による他学科への影響はない。

食物栄養学科

今回の学則変更（収容定員変更）に伴う変更はない。従来の教員組織は入学定員 120 人の規模で編成しているが、入学定員変更後も、卒業要件に係る科目を担当する専任教員数の変更はなく教員組織を入学定員 120 人の規模を維持するため、変更前より同等以上の内容を担保する。

なお、学則変更（収容定員変更）による他学科への影響はない。

幼児教育学科

今回の学則変更（収容定員変更）に伴う変更はない。従来の教員組織は入学定員 100 人の規模で編成しているが、入学定員変更後も、専任教員数の変更はなく教員組織を入学定員 100 人の規模を維持するため、変更前より同等以上の内容を担保する。

なお、学則変更（収容定員変更）による他学科への影響はない。

(I) 短大全体の施設・設備の変更内容について

短大全体の施設は、本学園が設置している神戸女子大学健康福祉学部、看護学部と同じポートアイランドキャンパスに設置されている。そのため、短大の専用部分は施設全体の一部であり、ほとんどが共用部分となっている。

今回の学則変更（収容定員変更）に伴い専用部分の施設及び設備については、変更はない。

総合生活学科

本学科の専用の施設及び設備については、現在の施設・設備を継続する。共用で使用している講義室等については同キャンパス内で引き続き調整を図ることで、現在と同等以上の内容が担保されている。

食物栄養学科

本学科の専用の施設及び設備については、現在の施設・設備を継続する。共用で使用している講義室等については同キャンパス内で引き続き調整を図り、クラス数を現行の 3 クラスから 2 クラスでの運用とし、1 クラス当たりの人数は 40 人から 30 人として運用する。30 人での運用は、施設として充分対応できるものであり、ゆとりある施設・設備で、変更前より同等以上の内容が担保されている。

幼児教育学科

本学科の専用の施設及び設備については、現在の施設・設備を継続する。共用で使用している講義室等については同キャンパス内で引き続き調整を図ることで、現在と同等以上の内容が担保されている。

上述のとおり、変更前と同等以上の教育の質を担保し、各学科の教育目標に則り、学科教育の更なる充実を図る。

(添付資料)

資料1. 教育課程等の概要（総合生活学科、食物栄養学科、幼児教育学科）

別記様式第2号（その2の1）

教育課程等の概要														
(総合生活学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
心身の健康科目群	教育学	1後		2		○								兼3 オムニバス
	衣生活の知識	1後		1			○			1	1			オムニバス
	食事学	1前		2		○				1				兼2 オムニバス
	食品科学	1後		2		○								兼3 オムニバス
	体育講義	1後		2		○								兼1
	体育実技	1後		1				○						兼1
	健康づくり・生活支援入門	1前		2		○								兼1
	健康づくり・生活支援ワークショップ	1後		2		○								兼3 オムニバス
	健康・生活支援指導論実習	1後		1				○						兼1
	小計 (9科目)	—	0	15	0				0	2	1	0	0	兼14 —
コミュニケーション科目	異文化コミュニケーション	1前		2		○			1					兼1
	心理学	1前・1後		2		○								兼1
	英会話	1前・1後		1			○							兼2
	英語コミュニケーション(a)	1前	1				○		1					兼2
	英語コミュニケーション(b)	1後	1				○		1					兼2
	英語講読(a)	1前		1			○		1					兼1
	英語講読(b)	1後		1			○		1					兼1
	フランス語Ⅰ	1前		1			○							兼1
	フランス語Ⅱ	1後		1			○							兼1
	中国語Ⅰ	1前		1			○							兼1
	中国語Ⅱ	1後		1			○							兼1
	イタリア語Ⅰ	1前		1			○							兼1
	イタリア語Ⅱ	1後		1			○							兼1
	日本語入門	1前		2		○								兼1
	海外語学演習	1後		3			○		1					
	人間関係づくりワークショップ	1後		2		○								兼1
小計 (16科目)	—	2	20	0				1	0	0	0	0	兼10 —	
感性を磨く科目群	造形美術	1前・1後		1			○		1					兼1
	舞台芸術	1後		2		○								兼2 オムニバス
	芸術表現学	1後		2		○								兼1
	音楽鑑賞	1前		1			○							兼1
	日本文学	1後		2		○								兼1
	日本の伝統文化	1前		2		○								兼1
小計 (6科目)	—	0	10	0				1	0	0	0	0	兼6 —	
キャリアアップ科目群	情報リテラシー (コンピュータの活用)	1前		1			○							兼2
	キャリアへのアプローチⅠ	1前		2		○			1					兼1 共同
	キャリアへのアプローチⅡ	1後		1			○		1			1		兼1 共同
	ライフデザインセミナー	1後		1			○							兼2 オムニバス・共同(一部)
	インターンシップ	1前・1後		1				○	1					
小計 (5科目)	—	0	6	0				1	0	0	0	1	兼4 —	
社会を理解する科目群	子どもと社会	1後		2		○								兼1
	神戸の歴史学	1後		2		○								兼1
	日本の生活文化	1後		2		○				1				兼2 オムニバス・共同(一部)
	ボランティアの実践	1通		1				○						
	日本国憲法	1前・1後		2		○								兼1
	地域コミュニティ入門	1前		2		○								兼1
	防災・防犯入門	1前		2		○								兼1
	防災・防犯ワークショップ	1後		2		○								兼1
	防災・防犯指導論実習	1後		1				○						兼1
	地域連携インターンシップⅠ	2前		1				○						兼1
地域連携インターンシップⅡ	2後		1				○						兼1	
小計 (11科目)	—	0	18	0				1	1	0	0	0	兼10 —	
学科基礎科目	必修科目													
	総合生活論	1前		2		○			3	3	1			
	基礎ゼミ	1後		1			○		3	3	1		1	
	総合生活演習	2通		2			○		3	3	1		1	

別記様式第2号（その2の1）

教 育 課 程 等 の 概 要														
(総合生活学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
学科基礎科目	被服学	1前		2		○					1			
	調理学	1前		2		○				1				
	住居学	1前		2		○				1				
	情報社会論	1前		2		○								兼1
	社会福祉概論	2前		2		○								兼1
	家庭経営（家庭経済を含む）	1前		2		○								兼1
	健康管理概論	1後		2		○								兼1
	環境保全論	1前		2		○								兼1
	消費生活論	2前		2		○								兼1
	家族関係	1後		2		○								兼1
	保育学（実習を含む）	1前		2		○								兼1 ※実習
	被服構成基礎実習	1前		1				○				1		1
	調理基礎実習	1前		1				○			1			1
	住居デザイン基礎実習	1前		1				○			1			1
情報基礎演習	1後		1				○						兼1	
小計（18科目）		—	5	26	0		—			3	3	1	0	2
選択科目	基礎デザイン	1前		2		○								兼1
	デッサン演習	1前		1			○			1				
	CG演習Ⅰ（グラフィック）	1前		1			○			1				
	CG演習Ⅱ（ビジネス文書）	1後		1			○			1				
	デザイン論	1後		2		○				1				
	ビューティーデザイン	1前		2		○					1			
	ブライダル・プランナーⅡ	1後		2		○					1			
	ブライダルコーディネータ論	2前		2		○								兼1
	ブライダルコーディネータ演習	2後		1			○							兼1
	メイクアップ論	1前		2		○								兼1
	メイクアップ演習	1後		1			○							兼1
	ネイルアート演習Ⅰ	1前		1			○						1	兼1
	ネイルアート演習Ⅱ	1後		1			○						1	兼1
	服飾デザイン	1後		1			○					1		1
被服材料学	1後		2		○						1			
繊維学実験法	1後		2		○						1		1	
被服構成実習（和裁）	2前		1				○				1		1	
染色学	2後		2		○						1			
ファッションデザイン論	2前		2		○								兼1	
ファッションビジネス論	2後		2		○								兼1	
住居デザイン	住まいの法規	1前		1		○								兼1
	住まいの施工	1前		1		○								兼1
	住まいの構法	1後		2		○					1			
	インテリアコーディネータ概論	1後		2		○					1			
	インテリア設計製図	1後		1				○			1		1	兼1
	建築CAD演習	1後		1				○						兼1
	インテリアデザイン論	2前		2		○					1			
	住居計画学	2後		2		○								兼1
	住居デザイン実習Ⅰ	2前		1				○			1			
	住居デザイン実習Ⅱ	2後		1				○			1			
	住まいの構造	2前		2		○								兼1
	住まいの材料	2後		2		○								兼1
	宅地建物と法	1前		2		○					1			
	フードデザイン	製パン・製菓実習	1前		1				○			1		
調理学実習Ⅰ		1後		1				○			1			
調理学実習Ⅱ		2前		1				○			1			
栄養学		1後		2		○					1			
食品学		1後		2		○					1			
食品加工学		2前		2		○					1			
食品学演習		2前		1				○			1			

別記様式第2号（その2の1）

教 育 課 程 等 の 概 要															
(総合生活学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
選択科目	フードデザイン	フードコーディネート論	2前		2		○								兼1
		ライフステージ栄養学	2後		2		○			1					
		食品加工学実習	2後		1				○	1				1	
		食品衛生学	2後		2		○			1					
		フードスペシャリスト論	2後		2		○								兼1
		食生活論	2後		2		○								兼1
		フードコーディネーターの基礎	2前		2		○								兼1
		フードコーディネーター実習	2後		1				○	1					
	情報	情報科学Ⅰ	1後		2		○								兼1
		情報科学Ⅱ	2前		2		○								兼1
		生活情報技術	1後		1			○							兼1
		データベース技術論	2前		2		○								兼1
		コンピュータと情報発信	2前		2		○								兼1
	ビジネス	コンピュータネットワーク概論	2後		2		○								兼1
		秘書ビジネス論	1前		2		○								兼1
		秘書実務Ⅰ	1後		1			○		1					
		秘書実務Ⅱ	1後		1			○		1					
		社会調査論	2前		2		○								兼1
		マーケティング論	1後		2		○								兼1
		経営会計実務処理	2後		2		○								兼1
	心理	医療事務概論	1後		2		○								兼1
		ビューティ心理学	1後		2		○								兼1
		子ども心理学	1後		2		○								兼1
		犯罪心理学	1後		2		○								兼1
		恋愛心理学	2後		2		○								兼1
		動物心理学	1後		2		○								兼10 オムニバス
		音楽心理学演習	2前		1			○							兼1
	コミュニケーション	カウンセリング論	2後		2		○								兼1
プレゼンテーション概論		1前		2		○			1						
プレゼンテーション演習Ⅰ		1前		1			○		1						
プレゼンテーション演習Ⅱ		1後		1			○		1						
プロジェクト演習		2前		1			○		1						
ビジネスコミュニケーション		2前		1			○		1						
日本語表現		1前		2		○			1						
ビジネス英語コミュニケーションⅠ		2前		2		○			1						
ビジネス英語コミュニケーションⅡ		2後		2		○			1						
実践資格英語Ⅰ		1前		1			○		1						
実践資格英語Ⅱ		1後		1			○		1						
教員・公務員	中国語コミュニケーションⅠ	2前		1			○							兼1	
	中国語コミュニケーションⅡ	2後		1			○							兼1	
	家庭科指導法(中)	1前		2		○								兼1	
教員・公務員	公務員研究Ⅰ	1後		2		○			1					兼2	
	公務員研究Ⅱ	2前		2		○			1					兼2	
	小計(83科目)	—		0	133	0	—	—	3	3	1	0	2	兼32 —	
合計(148科目)		—		7	228	0	—	—	3	3	1	0	2	兼80	
学位又は称号	短期大学士(総合生活学)			学位又は学科の分野				家政関係							
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
卒業要件として、教養科目12単位以上、専門科目50単位以上の合計62単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限:50単位(年間))								1学年の学期区分			2期				
								1学期の授業期間			15週				
								1時限の授業時間			90分				

別記様式第2号（その2の1）

教育課程等の概要																
(食物栄養学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
心身の健康科目群	教育学	1後		2		○			1					兼2	オムニバス	
	衣生活の知識	1後		1			○							兼2	オムニバス	
	食事学	1前		2		○				1	1			兼1	オムニバス	
	食品科学	1後		2		○				2	1				オムニバス	
	体育講義	1後		2		○								兼1		
	体育実技	1後	1					○						兼3		
	健康づくり・生活支援入門	1前		2		○								兼1		
	健康づくり・生活支援ワークショップ	1後		2		○								兼3	オムニバス	
	健康・生活支援指導論実習	1後		1				○						兼1		
	小計 (9科目)	—		1	14	0	—	—	—	1	3	2	0	0	兼13	—
	コミュニケーション科目	異文化コミュニケーション	1前		2		○								兼1	
		心理学	1前・1後		2		○								兼1	
		英会話	1前・1後		1			○							兼1	
		英語コミュニケーション(a)	1前	1				○		1						
		英語コミュニケーション(b)	1後	1				○		1						
		英語講読(a)	1前		1			○		1					兼1	
英語講読(b)		1後		1			○		1					兼1		
フランス語 I		1前		1			○							兼1		
フランス語 II		1後		1			○							兼1		
中国語 I		1前		1			○							兼1		
中国語 II		1後		1			○							兼1		
イタリア語 I		1前		1			○							兼1		
イタリア語 II		1後		1			○							兼1		
日本語入門	1前		2		○								兼1			
海外語学演習	1後		3			○							兼1			
人間関係づくりワークショップ	1後		2		○								兼1			
小計 (16科目)	—		2	20	0	—	—	—	1	0	0	0	0	兼10	—	
感性を磨く科目群	造形美術	1前・1後		1			○							兼1		
	舞台芸術	1後		2		○								兼1		
	芸術表現学	1後		2		○								兼2	オムニバス	
	音楽鑑賞	1前		1			○							兼1		
	日本文学	1後		2		○								兼1		
	日本の伝統文化	1前		2		○								兼1		
小計 (6科目)	—		0	10	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼7	—	
キャリアアップ科目群	情報リテラシー (コンピュータの活用)	1前		1			○						1	兼2		
	キャリアへのアプローチ I	1前		2		○			1					兼1	共同	
	キャリアへのアプローチ II	1後		1			○		1					兼1	共同	
	ライフデザインセミナー	1後		1			○		1					兼1	オムニバス・共同(一部)	
	インターンシップ	1前・1後		1				○	1							
小計 (5科目)	—		0	6	0	—	—	—	1	0	0	0	1	兼4	—	
社会を理解する科目群	子どもと社会	1後		2		○								兼1		
	神戸の歴史学	1後		2		○								兼1		
	日本の生活文化	1後		2		○			2					兼1	オムニバス・共同(一部)	
	ボランティアの実践	1通		1				○	1							
	日本国憲法	1前・1後		2		○								兼1		
	地域コミュニティ入門	1前		2		○								兼1		
	防災・防犯入門	1前		2		○								兼1		
	防災・防犯ワークショップ	1後		2		○								兼1		
	防災・防犯指導論実習	1後		1				○						兼1		
	地域連携インターンシップ I	2前		1				○						兼1		
地域連携インターンシップ II	2後		1				○						兼1			
小計 (11科目)	—		0	18	0	—	—	—	3	0	0	0	0	兼9	—	
専門科目	公衆衛生学	2前・後		2		○								兼1		
	社会福祉論	2後		2		○								兼1		
	解剖学	1前		2		○			1							
	生化学	1後		2		○			1							
	生理学	1後		2		○			1							

教 育 課 程 等 の 概 要

(食物栄養学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	臨床医学概論	2前・後		2		○									兼2	
	基礎食品学	1前	2			○									兼1	
	応用食品学	2後		2		○					1					
	食品衛生学	1前	2			○					1					
	解剖生理学実習	2前		1				○		1	1			1	オムニバス・共同(一部)	
	生化学実験	2後		1						1				2		
	食品学実験 I	1前		1						1	1			1		
	食品衛生学実験	1後		1							1			2		
	小計 (13科目)	—	4	18	0	—	—	—	—	1	1	2	0	2	兼5	—
	基礎栄養学	1前	2			○										兼1
	応用栄養学	1後		2		○					1					
	臨床栄養学	2後		2		○				1						
	健康食育論	2前		2		○				2		1			オムニバス・共同(一部)	
	栄養教育・指導論	1後		2		○					1					
	栄養カウンセリング論	2前		2		○					1					
	栄養情報処理演習	1後		1			○						○		兼1	
	公衆栄養学	2前		2		○									兼2	
	給食計画実務論	1前		2						1						
	調理学	1前	2			○					1					
	給食運営管理実習 I	1後		1						1				2	兼1	
給食運営管理実習 II	2前		1						1				2	兼1		
校外実習	2前・後		1						1	1				共同		
栄養教育・指導論実習	2前		1							1						
栄養学実習 I	2前		1							1			2	兼1		
栄養学実習 II	2後		1							1			1	オムニバス・共同(一部)		
臨床栄養学実習	2前		1						1				1	兼1		
調理学実習 I	1前	1							1		1					
調理学実習 II	1後		1							1	1					
クリエイティブクッキング	2後		1						1	1			1			
小計 (20科目)	—	5	24	0	—	—	—	—	3	3	1	0	3	兼5	—	
栄養士以外の資格に関する科目	食環境論演習	2後		1			○				1				兼1	
	応用微生物学	2前		2		○										
	食品学実験 II (基礎化学実験を含む)	2後		1							1		1			
	食品加工学	1後		2		○					1					
	フードスペシャリスト論	2前		2		○									兼1	
	フードコーディネート論	2前		2		○									兼1	
	食料経済 (食品流通を含む)	2前		2		○									兼1	
	学校栄養教育論	1前		2		○				2				2	オムニバス・共同(一部)	
小計 (8科目)	—	0	14	0	—	—	—	—	2	1	2	0	1	兼5	—	
選択科目	やさしい生物	1前		2		○									兼1	
	やさしい化学	1前		2		○									兼1	
	スポーツ栄養学	2後		2		○			1	1					オムニバス・共同(一部)	
	栄養士実務技術演習	2後		1				○	1							
	食物栄養学セミナー	2後		1				○	1	1						
	食物アレルギー論	1後		2		○			1							
	アレルギー対応食実習	2前		1							1		1			
	栄養士へのアプローチ	1後		2		○			1							
	食文化栄養学セミナー (「食」と神戸)	1後		1				1	3	1					オムニバス・共同(一部)	
小計 (9科目)	—	0	14	0	—	—	—	—	3	2	1	0	1	兼2	—	
合計 (97科目)		—	12	138	0	—	—	—	4	3	2	0	3	兼55	—	
学位又は称号	短期大学士 (食物栄養学)	学位又は学科の分野			家政関係											
卒業要件及び履修方法					授業期間等											
卒業要件として、教養科目12単位以上、専門科目50単位以上の合計62単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限：50単位 (年間))					1 学年の学期区分			2期								
					1 学期の授業期間			15週								
					1 時限の授業時間			90分								

別記様式第2号（その2の1）

教育課程等の概要															
(幼児教育学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
心身の健康科目群	教育学	1後		2		○			1	1				兼1 オムニバス	
	衣生活の知識	1後		1			○							兼2 オムニバス	
	食事学	1前		2		○								兼3 オムニバス	
	食品科学	1後		2		○								兼3 オムニバス	
	体育講義	1後		2		○								兼1	
	体育実技	1後		1				○						兼1	
	健康づくり・生活支援入門	1前		2		○								兼1	
	健康づくり・生活支援ワークショップ	1後		2		○								兼3 オムニバス	
	健康・生活支援指導論実習	1後		1				○						兼1	
	小計(9科目)	—	0	15	0	—	—	—	1	1	0	0	0	兼15 —	
	コミュニケーション科目	異文化コミュニケーション	1前		2		○								兼1
		心理学	1前・1後		2		○								兼1
		英会話	1前・1後		1			○							兼1
		英語コミュニケーション(a)	1前	1				○							兼2
		英語コミュニケーション(b)	1後	1				○							兼2
		英語講読(a)	1前		1			○							兼2
		英語講読(b)	1後		1			○							兼2
		フランス語Ⅰ	1前		1			○							兼1
		フランス語Ⅱ	1後		1			○							兼1
中国語Ⅰ		1前		1			○							兼1	
中国語Ⅱ		1後		1			○							兼1	
イタリア語Ⅰ		1前		1			○							兼1	
イタリア語Ⅱ		1後		1			○							兼1	
日本語入門		1前		2		○								兼1	
海外語学演習		1後		3			○							兼1	
人間関係づくりワークショップ		1後		2		○								兼1	
小計(16科目)	—	2	20	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼12 —		
感性を磨く科目群	造形美術	1前・1後		1			○							兼1	
	舞台芸術	1後		2		○				1				オムニバス	
	芸術表現学	1後		2		○			2						
	音楽鑑賞	1前		1			○				1				
	日本文学	1後		2		○								兼1	
	日本の伝統文化	1前		2		○			1						
小計(6科目)	—	0	10	0	—	—	—	3	1	1	0	0	兼2 —		
キャリアアップ科目群	情報リテラシー(コンピュータの活用)	1前		1			○						1	兼1	
	キャリアへのアプローチⅠ	1前		2		○								兼2 共同	
	キャリアへのアプローチⅡ	1後		1			○							兼2 共同	
	ライフデザインセミナー	1後		1			○							兼2 オムニバス・共同(一部)	
	インターンシップ	1前・1後		1				○	1						
小計(5科目)	—	0	6	0	—	—	—	1	0	0	0	1	兼4 —		
社会を理解する科目群	子どもと社会	1後		2		○				1					
	神戸の歴史学	1後		2		○								兼1	
	日本の生活文化	1後		2		○								兼3 オムニバス・共同(一部)	
	ボランティアの実践	1通		1				○		1					
	日本国憲法	1前・1後		2		○								兼1	
	地域コミュニティ入門	1前		2		○								兼1	
	防災・防犯入門	1前		2		○								兼1	
	防災・防犯ワークショップ	1後		2		○								兼1	
	防災・防犯指導論実習	1後		1				○						兼1	
	地域連携インターンシップⅠ	2前		1				○						兼1	
	地域連携インターンシップⅡ	2後		1				○						兼1	
小計(11科目)	—	0	18	0	—	—	—	0	2	0	0	0	兼10 —		
専門科目	国語	2後		2		○			1						
	算数	2後		2		○			1						
	生活	2後		2		○			1						
	音楽(器楽)A1	1前		1			○				1			兼8	

教 育 課 程 等 の 概 要

(幼児教育学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
領域及び保育内容の指導法に関する科目	音学(器楽)A2	1前		1				○									兼1	
	音楽(器楽)B	1後		1				○									兼9	
	音楽(器楽)C	2前		1				○									兼8	
	音楽(歌唱)A	1前		1				○									兼2	
	音楽(歌唱)B	1後		1				○									兼2	
	音楽(歌唱)C	2前		1				○									兼2	
	図画工作	2前		1				○		1								
	体育	1後		1				○			1							
	保育内容の指導法(健康)	1前		1				○		1								
	保育内容の指導法(人間関係)	1前		1				○		1								
	保育内容の指導法(環境)	1後		1				○		1								
	保育内容の指導法(言葉)	1前		1				○		1								
	保育内容の指導法(表現)	1後		1				○		1								
	保育内容の指導法A	1後		1				○		1								
	保育内容の指導法B	2前		1				○		1								
	保育内容の指導法C	2前		1				○			1							
	小計(20科目)		—	0	23	0			—	4	1	1	0	0			兼11	—
	教育に関する基礎的理解に	教職原論		2					○									兼1
		教育原理(教育史及び社会的、制度的又は経営的事項を含む)		2					○									兼1
教育心理学			2					○									兼1	
特別支援教育				2				○									兼1	
教育課程論			2					○		1								
教育課程論演習			2					○		2							オムニバス・共同(一部)	
小計(6科目)		—	6	6	0			—	2	0	0	0	0			兼3	—	
教育の方法・技術、幼児理解の理論・方法、教育相談の理論・方法(カウンセリングを含む)に関する科目	教育の方法・技術	1後		2				○										
	幼児理解の理論・方法	1前		2				○			1							
	教育相談の理論・方法(カウンセリングを含む)	2後		2				○			1							
	小計(3科目)		—	0	6	0			—	1	1	0	0	0			—	
教育実習に	教育実習指導	1後		1				○									兼2	
	教育実習	2通		4						○							オムニバス・共同	
	保育・教職実践演習(幼稚園)	2後		2				○									兼2	
	小計(3科目)		—	0	7	0			—	3	1	0	0	0			兼2	
教職関連科目	教育情報処理演習	1後		1				○									兼1	
	学科特別演習Ⅰ	2前	1					○		5	4	1						
	学科特別演習Ⅱ	2後	1					○		5	4	1						
	保育者のキャリア形成論	1後		2				○			2						オムニバス・共同(一部)	
小計(4科目)		—	2	3	0			—	5	4	1	0	1			兼1		
保育に関する科目	保育原理	1前	2					○										
	子ども家庭福祉	2前		2				○			1							
	社会福祉	1前		2				○			1							
	子ども家庭支援論	1後		2				○			1							
	社会的養護Ⅰ	1後		2				○			1							
	社会的養護Ⅱ	2前		1				○			1							
	保育者論	1前	2					○		1								
	保育の心理学	1前		2				○			1							
	子ども家庭支援の心理学	1後		2				○			2						共同	
	子どもの理解と援助	2前		1				○			1							
	子どもの保健	1前		2				○									兼1	
	子どもの食と栄養Ⅰ	1前		1				○									兼1	
	子どもの食と栄養Ⅱ	1後		1				○						1			兼1	
	保育内容総論	1前		1				○		1								
	乳児保育Ⅰ	1前		2				○			1							
	乳児保育Ⅱ	1後		1				○			1						兼1	
	子どもの健康と安全	1後		1				○						1			兼1	
	障害児保育Ⅰ	2前		1				○			1							
障害児保育Ⅱ	2後		1				○			1						兼1		
子育て支援Ⅰ	2前		1				○			1						オムニバス・共同(一部)		

教 育 課 程 等 の 概 要

(幼児教育学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	子育て支援Ⅱ	2後		1			○									共同 兼2 オムニバス・共同(一部) オムニバス・共同(一部) 兼1 オムニバス 兼2 兼1 兼2 共同 共同
	保育実習Ⅰ(保育所)	1後		2				○	1	1						
	保育実習Ⅱ(施設)	2前		2				○		1						
	保育実習指導Ⅰ(事前)	1後		1				○	1	2						
	保育実習指導Ⅰ(事後)	2後		1				○	1	2						
	食育論(子どもと食生活)	1後		2		○										
	食生活基礎技術演習	2前		1			○		1							
	保育カウンセリング	2前		2		○				1						
	子どもの遊びと文化	2後		1				○	1							
	伴奏法	2後		1				○			1					
	造形表現研究	2前		1				○	1							
	保育実習Ⅱ	2後		2					1	1						
	保育実習Ⅲ	2後		2						1						
	保育実習指導Ⅱ	2前		1				○	1	1						
	保育実習指導Ⅲ	2前		1				○	1	1						
小計(35科目)		—	4	47	0	—			5	4	1	0	2	兼8	—	
合計(118科目)		—	14	161	0	—								兼57		
学位又は称号		短期大学士(幼児教育学)			学位又は学科の分野			教育学・保育学関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等									
卒業要件として、教養科目12単位以上、専門科目50単位以上の合計62単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限：50単位(年間))							1学年の学期区分			2期						
							1学期の授業期間			15週						
							1時限の授業時間			90分						